

プレスリリース

2018年10月29日、ヴェヴェー発



ネスレ、プラスチック廃棄物および汚染への取り組みを強化

ネスレは本日、インドネシアのバリ島で開催された the Our Ocean Conference で、新プラスチック経済グローバルコミットメント(「グローバルコミットメント」)に署名し、他の企業や政府との協力を約束しました。

グローバルコミットメントは、エレン・マッカーサー財団と国連環境計画のイニシアチブによる声明です。プラスチックを決して廃棄物にしない、という循環型経済の原則を適用して、プラスチックの将来を再考することを目指しています。また、このコミットメントは、プラスチック廃棄物および汚染における、根本的な原因への対処にむけて、協働を進めるための強力な枠組みの象徴でもあります。

ネスレ CEO のマーク・シュナイダーは、「このグローバルコミットメントは、直線型から循環型経済へと移行するために、早急に私たちが必要とする段階的変化です。ネスレは、行動し、具体例を明示することで、この活動をけん引していきたいと思えます。ネスレは、プラスチックを含む当社のパッケージングが、一つたりとも自然環境に残らないようにするために、私たちはこの役割を担います。」と語りました。

ネスレは、包装材料が廃棄物にならないようにする防止策の必要性を認識しています。2025年までにネスレの包装材料の100%をリサイクル可能、あるいはリユース可能にするというネスレの目標は、その必要性に基づいています。

この目標を達成するため、ネスレはいくつかの画期的な研究開発プロジェクトに着手しています。その1つがナチュオール ボトル アライアンスで、ウォータービジネスに使用するPETを100%バイオベースとすることを目指しています。

さらに、ネスレは事業活動をしている国々の状況に応じて、うまく機能させるための収集法、分別、リサイクルスキームの開発において、積極的な役割を引き続き果たしていきます。

ネスレの包装材料パフォーマンス改善への取り組みについての詳細は、[こちら](#)をご参照ください。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

報道関係者の皆様

担当: Christoph Meier

Tel.: +41 21 924 22 00